

プロスポーツチームが生み出す 豊かなまち・ひとづくりを考える

公益社団法人仙台青年会議所（JCI仙台）は70周年の節目を迎えた。人と人との関係が希薄になってきている時代だからこそ、その活動と役割の大切さがいま、クローズアップされている。市民が支えるプロサッカーチームを運営する株式会社ベガルタ仙台の佐々木知廣社長と、「プロスポーツとまち・ひとづくり」をテーマに対談した。（進行・仙台経済界）



公益社団法人 仙台青年会議所
理事長 菅原 啓太氏

すがわら・けいた
1988年仙台市生まれ。中央大学経済学部卒業。(株)清月記専務取締役。2015年仙台青年会議所入会。19年七夕花火祭特別委員長、20年副理事長。21年1月1日より仙台青年会議所理事長。趣味は旅行。

「仙台の未来を考えるためのムーブメントを」——菅原

本年度、仙台青年会議所は創立70周年を迎えました。これを機会に、プロスポーツチームが生み出す、豊かなまち・ひとづくりとは何かを

テーマに話し合っていました。まずは菅原理事長から、組織の概要と本年度の活動内容などをお願いします。

菅原 2021年度は「Standard Outlet」次世代がより豊かになる仙台(まち)へ」をスローガンに、会員が最も価値を感じられる組織にしていきたいと考えております。



取材撮影協力・ユアテックスタジアム仙台

※対談は、新型コロナウイルス感染に対応するため、常時マスクを着用して実施しました。撮影時のみ外しています。

仙台青年会議所70周年・対談



(株)ベガルタ仙台
社長 佐々木 知廣氏

ささき・ともひろ
1956年宮城県大崎市生まれ。東北学院大学経済学部卒業。79年4月郵政省入省。ゆうちょ銀行本社郵便局担当室長、同監査企画部長などを歴任。2020年12月14日より(株)ベガルタ仙台代表取締役社長に就任。趣味は街歩き。

り手よし、世間よしの三方よし」という近江商人の活動理念の言葉があります。これからは、SDGsの本質である「未来よし」を加えた四方よしの考え方が必要です。

菅原 時間軸を考えた持続可能性は、われわれも非常に重要な要素だと思います。具体的な施策などを教えてください。

佐々木 ユアテックスタジアム仙台がある泉中央地区に賑わいを創出していくために、5年、10年かかるかもしれないですが、人が集まり、ワクワクしてホッとする街にするために、「スタジアムパーク構想」を進めています。

菅原 ベガルタ仙台のサポーターとなったきっかけは何だったのですか。

佐々木 私はサッカーをやったことではないのですが、ブランメル仙台の時代に、知人に誘われ生でサッカー試合を見る機会がありました。鳥の声が聞こえてくるような観客も少ない中で、ボールを取りに行く選手同士がぶつかり合うゴッソングッソ

「ベガルタ仙台を使い倒してほしい」——佐々木

菅原 ファン作りですね。具体的にはどのようなことをされたのですか。

佐々木 入会金を100円の1コインとしました。入会すると会員特典を付けるのが普通のやり方です。

が、会員はベガルタ仙台のために一緒に何か活動できますよという特典にしました。

菅原 仙台には、ベガルタ仙台のほか野球、バスケット、バレーボールなどのプロチームがあります。それが仙台の強みでもあり、都市の魅力の一つを作っており、市民も誇りに思っています。

佐々木 確かにそう思います。一緒に地域課題を解決していけるような、ノンフットボールの部分も活動の柱にすることがとても大切です。

8月6日には、宮城県七ヶ宿町と協定を結び、町内の空き家を改修しベガルタハウスとして活用を進めることにしたばかりです。今後も県内市町村を回り、地域課題をお聞きしながらお手伝いできればと思っています。ぜひ、ベガルタ仙台を使い倒してほしいです。

菅原 JCI仙台にとっても、地域課題の解決は最も重要なことです。幸い会員の90%は中小企業に所属しており、若さもあるので機動力やスピード感には自信があります。

佐々木 実は、SDGsに関してベガルタ仙台のやっていること、ま

す。所属期間が40歳までと限られていますので、何のために活動しているのかを常に考えながら、ポジティブに行動してもらおうことが大切です。現在の会員数は185名で、女性会員は23名です。まちの未来を市民と一緒に考えていくための環境づくりやムーブメントを興していくことが役割だと思っています。

佐々木 プロサッカーチームのベガルタ仙台を運営する会社の社長に20年12月より就任しました。私はベガルタ仙台のサポーターでしたから、消費者が社長になったようなものなのです。クラブ運営が厳しい状況にある中で再建を託されました。キヤッチフレーズは「スタンディング仙台」です。足下だけを見るのではなく、長い目線と時間軸で仙台を考えることが必要だと思いました。

人はワクワクすること、ホッとする部分を求めています。このクラブはまさにその両方の部分を持っていないといけませんし、そこに存在意義があります。「買い手よし、売

たやろうとしていくこと、会議のときにホワイトボードに書き出したものなど、失敗も含め全て記録に残しています。これを中小企業の方に使ってほしいのです。秋口には内容をまとめたいたいと思いますので、ぜひご覧になってください。

菅原 コンテンツ力のあるベガルタ仙台の力添えをいただきたいと思えますし、JCI仙台の事業であります仙台七夕花火祭の場などをうまく使ってほしいと思います。

佐々木 地域の方々と取り組む「ベガ活ファンド」を実施しており、クラウドファンディングのノウハウも蓄積してきました。他にも、JリーグIDというシステムに登録している約6万人の方々にクラブを通してアプローチすることがあります。中小企業の課題解決などに、ベガルタ仙台の情報発信力を利用していただきたい。

菅原 JCI仙台といたしましては、ベガルタ仙台さまと一緒に、仙台のためにさまざまな運動を展開していきたいと思えます。

本日は、大変貴重なお話をいただき、ありがとうございました。